

ノート

洋酒の鑑定について

三 松 敬 児 ※

1 緒 言

洋酒は、アルコール分、エキスを測定し瓶、レッテル、包装等を考慮し鑑定しているが、今日密輸入品については、中味を入替えたものまであるのでレッテルと中味が同一かどうか、確認する必要がある。

そこでアルコール分、エキス分以外に、各種の洋酒について紫外吸収スペクトルを測定して、吸収曲線から洋酒の同一性の確認及び各種洋酒の鑑別ができるかどうかを、検討したので報告する。

洋酒の代表としてブランデー、ウィスキーを用いた。

2 方法及び装置

分析試料	検体 1ml を蒸留水で 100ml に 希釈したもの
機 器	日立 EPO-2A 型 島津自記光電分光光度計 SV 型
セ ル	10 mm 石英セル
標準試料	蒸留水
測定波長範囲	220～320m μ
測定値	蒸留水を 100 とした場合の透過率 で測定

3 結果及び考察

3.1 ブランデー

サントリー V.S.O.P の吸収曲線及びヘネシー スリーの吸収曲線を Fig.1 に示す。

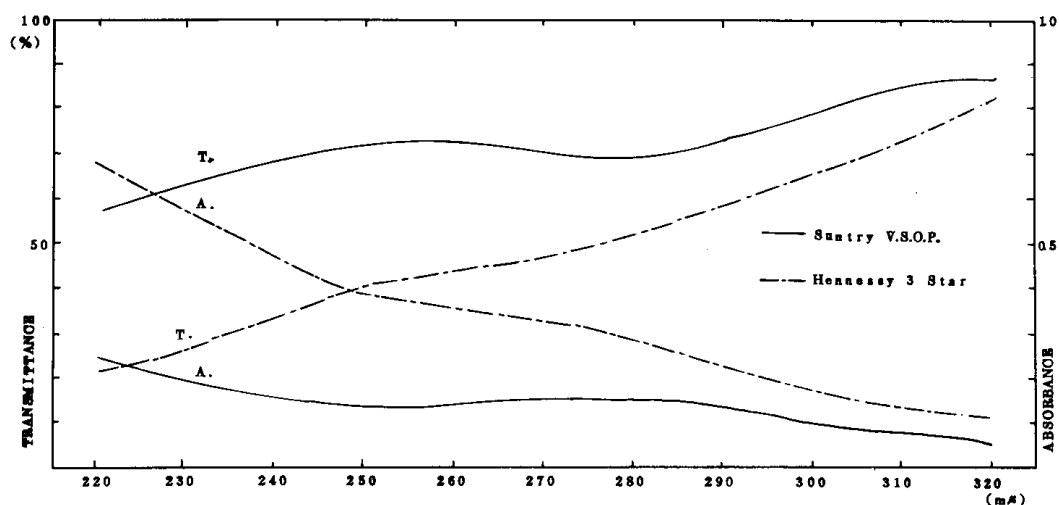


Fig. 1 U.V. Absorption Spectra of BRANDY

洋酒の鑑定について

国産ブランデーは透過率曲線と吸光度曲線の交点を持たないが、外国産ブランデーは交点を待っている。

国産と外国産ブランデーの吸収曲線の特徴的な違いから国産か外国産かの判定が出来る。

次に、各種輸入ブランデーの吸収曲線を Fig.2 に示す。

種類により吸収曲線に多少の相違が見られるので、標

準品を用いることにより同一性の確認ができ、また、ある程度は種類の鑑別もできるものと思われる。

ヘネシースリースターの市販品（正規輸入品）を標準品とし、開封した犯則物件との比較を Fig.3 に示す。標準品と犯則物件の透過率曲線は同一曲線を示すので、犯則物件はヘネシースリースターであることが確認出来た。

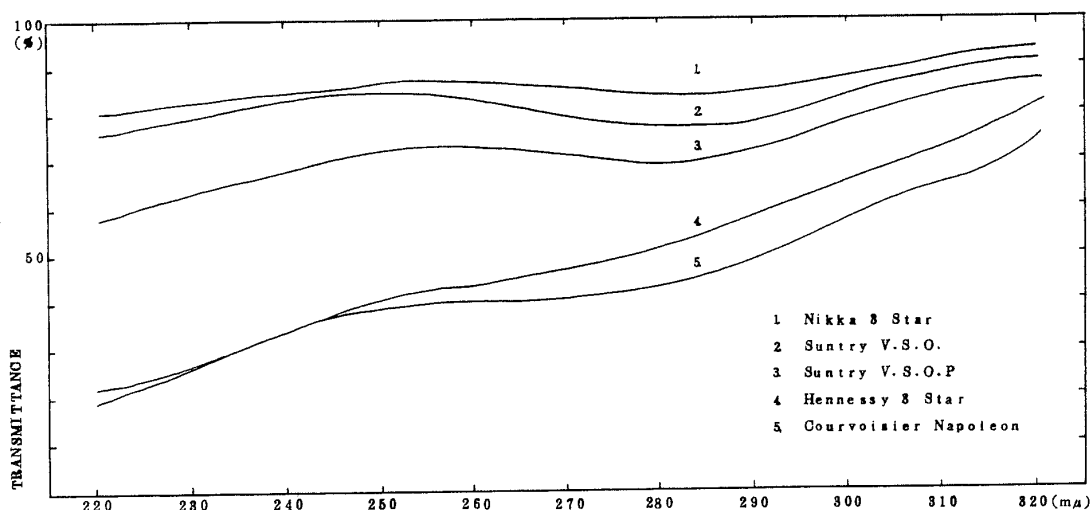


Fig. 2 U.V. Absorption Spectra of BRANDY

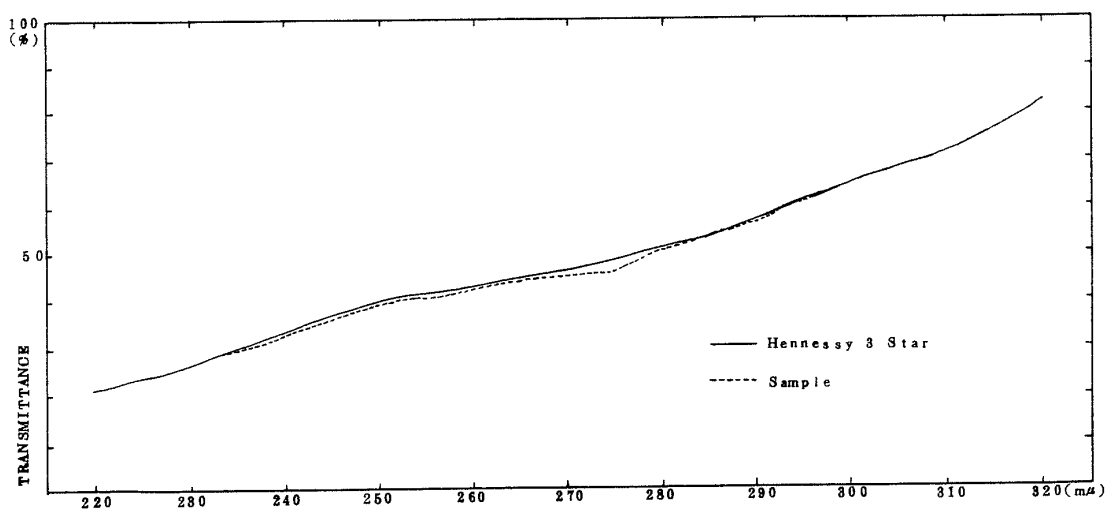


Fig. 3 U.V. Absorption Spectra of BRANDY

3.2 ウイスキー

各ウイスキーの吸収曲線を Fig.4 に示す。

ブランドのように国産と外国産との違いは明確ではないが、各種ウイスキーの吸収曲線に多少の差異が見られるから、標準品と同時に測定することにより同一性の確認をすることが出来るものと思われる。

ジョニーウォーカー赤の市販品（正規輸入品）を標準品として、犯則物件との比較を Fig.5 に示す。

標準品と犯則物件の透過率曲線は同一曲線を示すので犯則物件はジョニーウォーカー赤であることが確認出来た。

3.3 この方法は、試料が少量で出来るので税関分析、特に犯則物件の鑑定に大いに役立つものと思われる。

Identification of Liquors

Keiji Mitsumatsu

Moji Customs Labortory

Nishikaigan Dori Moji Ku

Kitakyushu shi Fukuokaken.

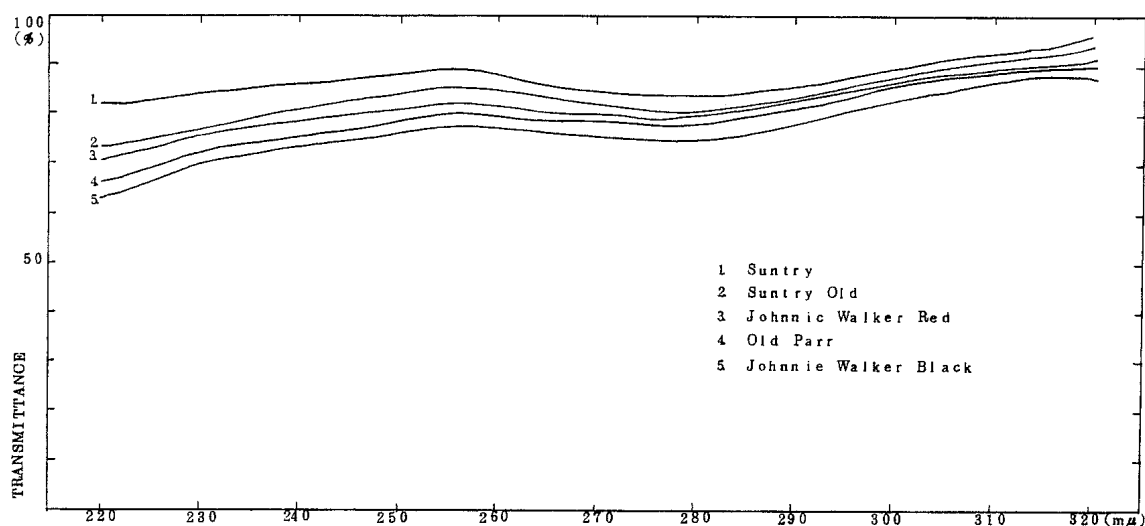


Fig.4 U.V.Absorption Spectra of WHISKEY

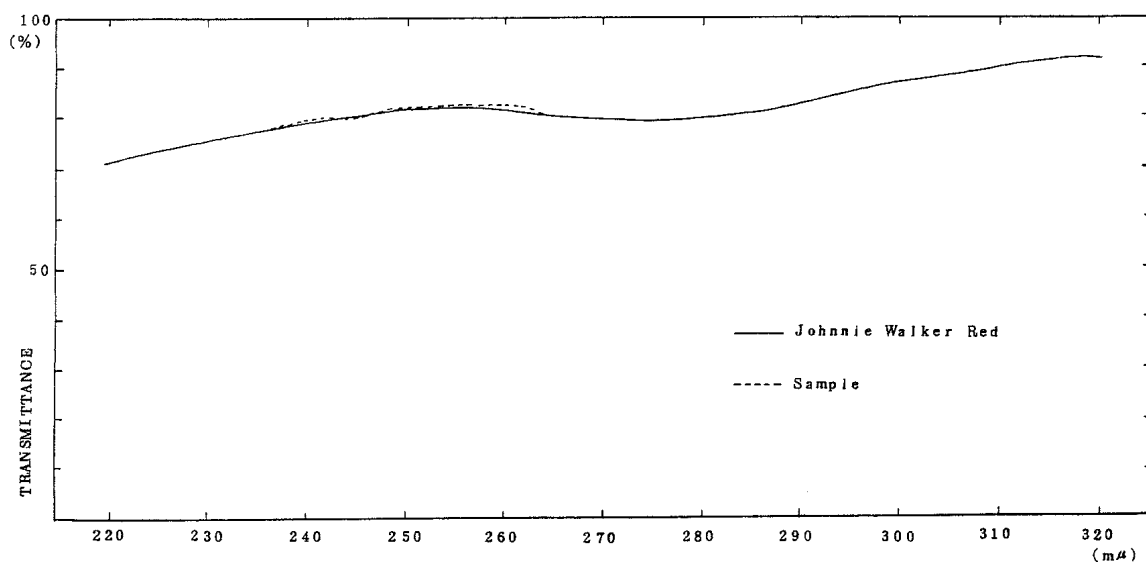


Fig.5 U.V.Absorption Spectra of WHISKEY